

こんにちは、SSH推進委員会です。SSH推進委員会は富田林中学校・高等学校のSSHの取組みを企画・実行する委員会です。第2号となる今回は、7月14日（日）に実施した「大阪大谷大学調剤体験」についてです。

☆「大阪大谷大学 調剤体験」を実施しました！！

7月14日（日）9：00から大阪大谷大学薬学棟にて、調剤体験が実施されました。この調剤体験の募集人数は、中学・高校合わせて35名でしたが、なんと86名の応募があり（昨年度は87名の応募）、大変好評な企画です。この人数だけ見ても富田林中高の意識の高さがうかがえますね。そこで、抽選会を実施し、参加する35名が決まりました！（落選したみなさん、ぜひ来年度も応募してくださいね。）当日は抽選で選ばれた35名の中学生・高校生が大阪大谷大学薬学部を訪問し、3つのグループに分かれてローテーションでそれぞれの体験をしました。

①薬学部研究棟見学ツアー

見学ツアーでは、研究室や模擬薬局、最先端の実験機器の見学と説明、薬ができるまでの過程の説明、生物実験の倫理面でのお話など多岐にわたる説明をしていただきました。粉末X線回折、電子顕微鏡、PCR機器、HPLCなど最先端の実験機器は普段見ることのできないものなので、じっくりと見学しました。



②調剤体験（軟膏・注射・免疫学講座による蛍光たんぱく質発現細胞の観察）

調剤体験では、軟膏調剤体験と今年度新たに点滴薬調剤・免疫学講座による蛍光タンパク質発現細胞の観察が加わり、3班に分かれて行いました。軟膏調剤体験では、2つの軟膏を乳鉢と乳棒で混ぜ合わせる体験を行いました。点滴薬調剤では、実際の点滴に使用する液剤に薬剤を注射器を用いて調合していく体験をしました。蛍光タンパク質発現細胞の観察では、実際に最先端で研究している方に施設見学させていただき、お話を伺うことができました。



③高機能シミュレーター実習

高機能シミュレーター実習では、高額のシミュレーター（人型のシミュレーター）に聴診器を当て脈を取ったり、呼吸を確認したり、実際の人間内部を忠実に再現された音を聞き取りました。また、心臓が止まった時も再現でき、心肺蘇生の実習も行いました。

